

例会『GOSICK—ゴシック—』 桜庭一樹

2013年04月13日

◎著者略歴

1971年生まれ。

1999年「夜空に、満天の星」(『AD2015 隔離都市 ロンリネス・ガーディアン』と改題して刊行)で第1回ファミ通えんため大賞に佳作入選。

2003年、〈GOSICK〉シリーズを開始。『GOSICK-ゴシック-』は、2003年12月に富士見ミステリー文庫から刊行される。

2004年に発表した『推定少女』『砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけない』が高く評価される。

2005年、『少女には向かない職業』を刊行。

2007年、『赤朽葉家の伝説』で、第60回日本推理作家協会賞を受賞。

2008年、『私の男』で第138回直木賞を受賞。

2012年10月、最新作『無花果とムーン』を刊行。

●「ミステリ」として

○占い師殺し

a. 検死の結果

- ・(多くの場合)探偵にとっては目障りな存在である警察

b. 行き当たりばったり?

- ・不合理な行動を推理する探偵

c. ヴィクトリカの千里眼

- ・超人探偵
- ・「探偵=黒幕」

○箱の復讐

a. 復讐はどの程度までゆるされるのか

- ・過剰すぎる復讐

b. 転覆したボートごと沈んだおじさん達

- ・中途半端な復讐

c. 「誰が犯人？」

- ・モーリスの場合
- ・テッドの場合

●まとめ

- ・「テニスボール」は許容されるか?